

実務経験を有する教員一覧

【看護学部 看護学科】

科目名称	履修年次	単位数	教員氏名	実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性
人体構造と機能Ⅰ	1	2	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、解剖学の知識が身につくような授業を行います。
人体構造と機能Ⅱ	1	2	田林 暁一	医師として5年以上の臨床経験があり、それを活かし、呼吸器、循環器、消化器、泌尿器、及び生殖器の構造と機能を理解させる。
栄養学	1	1	高泉 佳苗	管理栄養士として病院に勤務した実務経験（4年）を有する。授業では病院での栄養管理業務の経験を活かした授業を行う。
病理学	1	1	齋木 由利子	病理専門医として5年以上の実務経験を活かし、人体の主要な疾患の病態について概説する。
病態治療学Ⅰ	1	2	田林 暁一 小山 周樹 長屋 慶 中川 國利	医師として5年以上の臨床経験があり、それを活かし放射線、麻酔法、血液系、免疫系疾患の病態と治療について講義する。
病態治療学Ⅱ	1	2	田林 暁一 渡辺 卓 布施 昇男 橋本 隼也	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて循環、呼吸、眼科、耳鼻科、及び皮膚科疾患の原因、病態、及び治療法について講義する。
病態治療学Ⅲ	1	2	湯田 健太郎 田子 竜也 長谷川 喬彦	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて栄養の摂取・消化・吸収・代謝、内部環境調節、排泄、男性生殖器疾患の病態と治療について講義する。
看護薬理学	1	2	木村 勝彦	薬剤師として30年以上の実務経験があり、それを活かして薬理学的知識とその活用、看護に必要な薬物療法について講義する。
看護学概論	1	2	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、学生が看護に関する基本的概念、看護実践における主要な看護理論について理解が深められるよう授業展開する。
看護倫理	1	1	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護実践における看護倫理について理解が深められるよう授業展開する。
看護過程論	1	2	木下 美佐子	看護師と、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護実践における看護過程展開について理解が深められるよう授業展開する。
基礎看護技術Ⅰ	1	1	竹田 理恵	担当教員は、看護師として5年以上の実務経験を有し、学生が科学的根拠に基づく看護の実践に必要な基礎的知識について理解を深め、看護技術を修得し看護実践能力の基盤をつくることのできるよう、実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅱ	1	2	竹田 理恵	担当教員は、看護師として5年以上の実務経験を有し、学生が日常生活援助技術の基礎的知識について理解を深め、科学的根拠に基づく看護実践能力を修得できるよう、実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅲ	1	1	二口 尚美	消化器・血液内科で10年の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かした実践的な授業を行います。
基礎看護技術Ⅳ	1	2	佐藤 清湖	担当教員は、看護師資格を有し、臨床の看護師としての5年以上の実務経験を活かして学生が診療援助技術を理解し、技術を修得できるよう、実践的な視点を踏まえて指導します。
成人看護学概論	1	1	佐藤 富美子	看護師としての5年間の臨床における実務経験を活かして、成人期の発達課題、生活と健康について理解を深められるよう授業を展開する。
基礎看護学実習Ⅰ	1	1	木下 美佐子	看護師、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、看護が実感できる実習展開をする。
基礎看護学実習Ⅱ	1	2	木下 美佐子	看護師、認定看護管理者としての5年以上の実務経験を活かし、根拠を持った看護実践に取り組み看護者としての基本的態度が身につく実習展開をする。
法学入門	2	1	鈴木 一樹	公認会計士として5年以上、企業等の会計監査、税理士として税務業務、不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事。

病態治療学Ⅳ	2	2	平山 和美 日下部 隆	医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて運動、神経疾患の病態と治療について講義する。
チームアプローチ入門	2	1	高橋 由美 外里 富佐江	看護師、理学療法士、作業療法士（病院等に5年以上勤務）として、チーム医療の実務経験を活かし、学生の理解を深められるような授業を展開する。
地域・在宅看護学概論Ⅰ	2	1	小林 淳子	担当教員は看護師・保健師の資格と行政保健師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が地域・在宅看護の概要についてイメージできるよう授業を行います。
地域・在宅看護学概論Ⅱ	2	1	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かし、具体例をあげながらわかりやすく説明する。
成人看護学援助論	2	2	佐藤 富美子	教員は成人看護学分野で5年の実務経験と看護師・保健師資格を有し、その経験を活かした実践的な授業を展開する。
成人看護学援助方法	2	2	阿部 春美 岡崎 優子 伊藤 茉莉子 遠藤 美穂子 泉田 さとみ 小倉 真紀	担当教員は成人看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かした実践的な授業を行います。
老年看護学概論	2	1	齋藤 美華	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師および保健師の資格を有しており、その経験を活かして老年看護学に関する基礎的知識について理解が深められるよう教授します。
老年看護学援助論	2	2	齋藤 美華 桑田 恵美子	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして老年看護学の実践に必要な基礎的知識・技術が修得できるよう教授します。
老年看護学援助方法	2	1	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして高齢者及び老年看護の役割の理解、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
小児看護学概論	2	1	佐藤 幸子	この授業では、小児看護を実践するために必要な知識・技術・態度を学修する。そのため教員は看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、臨床現場で活用できる授業を展開する。
小児看護学援助論	2	2	武田 美奈子	教員は小児看護分野において10年以上の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かしたアセスメントやケアについて実践的な授業を行います。
			岡崎 草代夏	教員は看護分野において8年以上の実務経験と看護師資格を有しており、その経験を活かした看護技術について授業を行います。
小児看護学援助方法	2	1	佐藤 幸子	看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、子どもの病棟・外来での看護、慢性期・急性期にある子どもとその家族への看護の実践方法について教授する。
			武田 美奈子	看護師としての10年以上の実践経験を活かし、ハイリスク新生児・在宅・感染症・災害を受けた子どもやその家族への看護の実践方法について教授する。
			岡崎 草代夏	看護師としての8年以上の実践経験を活かし、特殊な状況にある子どもやその家族への看護の実践方法について教授する。
母性看護学概論	2	1	田辺 圭子	教員は母性看護分野で20年の実務経験と看護師・助産師資格を有しており、その経験を生かし母子保健に関する社会に即した授業を行います。
母性看護学援助論	2	2	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、実践的な授業を行います。
母性看護学援助方法	2	1	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、臨床に適応できる授業や演習を行います。
精神看護学概論	2	1	小松 容子	担当教員は、精神科医療の臨床で5年以上の看護師としての実務経験と、専門看護師（精神看護）の資格を有しており、その経験を生かした授業を行う。

精神看護学援助論	2	2	村上 佑美	担当教員は精神科医師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かし学生が精神疾患・障害の特徴について理解を深められるよう教授します。
			阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。精神看護実践に必要な基礎的知識について、学生が具体的にイメージ出来るよう具体的な事例を挙げて教授します。
精神看護学援助方法	2	1	阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。これらの実務経験を踏まえ、臨床現場での具体的な事例や実践的視点を授業に取り入れることで、学生が精神看護学への理解を深め、看護実践につなげられるよう授業を行います。
看護過程展開方法	2	1	木下 美佐子 桑田 恵美子 阿部 幹佳 菅原 尚美 伊藤 茉莉子 岡崎 草代夏 坂村 佐知 東海林 美幸	看護師としての実務経験5年以上を活かし、学生が看護するうえで基本となる看護展開技術について理解が深められるよう授業展開する。
家族支援論	2	1	滝口 克典	NPO及び地域で、子ども・若者支援を25年行っています。その実務経験と社会問題の研究業績があり、その両者を活かした授業を行います。
			古瀬 みどり	病院及び在宅での10年以上の看護実務経験と看護師資格を有します。その経験と家族看護学の理論をリンクさせ、実践的な授業を行います。
周術期看護論	2	2	佐藤 富美子	担当教員は看護師・保健師の資格と周術期看護学分野を含む5年間の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が周術期看護の実践をイメージできるよう授業を展開する。
緩和ケア論	2	1	佐藤 富美子	看護師・保健師の資格と5年間の実務経験を活かし、学生が緩和ケア実践をイメージできるよう授業を展開する。
キャリアデザインセミナー	2	1	阿部 春美	看護師、看護管理者、看護教育分野でも5年以上の実務経験を活かし、看護専門職像としてキャリアデザインについて理解を深められるよう授業を展開する。
地域・在宅看護学実習 I	2	1	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かした授業を展開する。
領域横断看護実習	2	3	桑田 恵美子	担当教員は慢性期の患者の看護を5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして慢性期看護の理解を深め、学生が臨床現場に繋げることが出来るような実践的な授業を行います。
公衆衛生看護学概論	2	1	小林 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師として5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が公衆衛生看護の概要についてイメージできるよう授業を行います。
地域・在宅看護学援助論	3	2	高橋 由美	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護（訪問看護師・ケアマネジャー）の実務経験を活かし、多様な場・状況に応じた看護支援方法など、実践に必要な基礎的知が身につくように授業を行う。
地域・在宅看護学援助方法	3	1	東海林 美幸	看護師（病院等に5年以上勤務）として、地域・在宅看護の実務経験（訪問看護師・ケアマネジャー）を活かし、具体的事例や看護実践方法を紹介しながら授業を行う。
地域包括ケア論	3	1	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が地域包括ケアの実際について理解を深められるように授業を行います。
救急救命学	3	2	堀口 雅司	救急救命士としての25年以上の実務経験を活用して、医療人の基礎となる救急医療の重要性を教授する。医療人の基本となる人間愛と思いやりの心を持った救急対応時の知識と技術を指導する。

災害看護論	3	2	阿部 幹佳 坂村 佐知 手塚 有希子 泉田 さとみ	教員は看護師資格（実務経験5年以上）を有し、東日本大震災で被災地での救護活動や病院内での対応、地域における被災者支援の経験があります。その経験を活かした実践的な授業を行います。
看護研究 I	3	1	齋藤 美華	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師および保健師の資格を有しており、その経験を活かして看護研究の基礎および看護実践から看護研究への活用について理解が深まるような実践的な授業を行います。
成人看護学実習	3	3	佐藤 富美子	教員は成人看護学分野で5年の実務経験と看護師・保健師資格を有し、その経験を活かした実践的な授業を展開する。
老年看護学実習	3	3	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美 小倉 真紀	担当教員は老年看護学分野で5年以上の実務経験と、看護師としての資格を有しており、その経験を活かして老年看護学の理解を深め、学生が臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
小児看護学実習	3	2	佐藤 幸子	看護師・保健師としての7年以上の実務経験を活かし、実践に則した内容を教授する。
母性看護学実習	3	2	田辺 圭子 佐藤 理恵 坂村 佐知	教員は看護師・助産師（病院等5年以上の実務経験）としての実務経験を活かし、学修した母性看護の知識や技術を臨地実習において実践できるよう指導します。
精神看護学実習	3	2	阿部 幹佳 加藤 真理子	担当教員は、精神看護分野において5年以上の実務経験、看護師の資格を有しています。これらの実務経験を踏まえ、学修した精神看護の知識や技術を臨地実習において実践できるよう指導します。
公衆衛生看護学援助論 I	3	2	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして、学生が公衆衛生看護活動の理論と活動の意義について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護学援助論 II	3	2	手塚 有希子	行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの各ライフステージを対象とした保健師活動や健康危機管理活動の経験を活かし、学生が公衆衛生看護の実際について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護管理論	3	2	手塚 有希子	行政保健師として25年間の実務経験を有しており、保健センターや地域包括支援センターでの保健師活動と行政職としての行政事務の経験を活かし、学生が公衆衛生看護管理の実際について理解を深められるように授業を行います。
公衆衛生看護学実習 I	3	1	真溪 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師・産業保健師等として17年間の実務経験を有しており、その経験を活かして、学生が産業保健・産業保健活動の実際から保健師と養護教諭が果たす役割について理解が深められるように教授します。
	合計	94	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
		124	設置基準上の標準単位数	

実務経験を有する教員一覧

【リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻】

科目名称	履修年次	単位数	教員氏名	実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性
法学入門	1年	1	鈴木 一樹	公認会計士として企業等の会計監査、税理士として税務業務、不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事
経済と政策	1年	1	高橋 真	担当教員は、宮城県公立高校教員として11年「地理歴史科」「公民科」科目を担当し、また岩手大学と尚絅学院大学の教職課程担当者として20年「社会科教育法」を担当してきた。その経験に基づき、大学における経済学教育の実践的な教育指導法についての経験を有している。担当教員は学生の理解を高める授業を行います。 【免許・資格】中学校教諭一種・高等学校専修教員免許、大学設置審・教職課程設置担当科目合格教員
健康スポーツⅠ	1年	1	菅原 一昭	高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。宮城県マスターズ陸上競技連盟理事長。JAAF公認ジュニアコーチ資格。
解剖学Ⅰ	1年	2	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、理学療法学・作業療法学を学んでいく上で必要な基礎医学の知識が身につくような授業を行います。
解剖学演習	1年	1	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、理学療法学・作業療法学を学んでいく上で必要な基礎医学の知識が身につくようグループワーク中心の演習を行います。
運動学総論	1年	1	原 和彦	医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての実務経験を活かし、学生が身体運動の仕組みについて理解を深め、臨床現場に繋げることができるような授業を展開する。
運動学演習Ⅰ	1年	1	原 和彦 坂上 尚穂	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が人体の構造と機能について理解を深め、日常生活や臨床現場に繋げることができるような授業を行います。
運動学演習Ⅱ	1年	1	原 和彦 大友 篤	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が人体の構造と機能について理解を深め、日常生活や臨床現場に繋げることができるような授業を行います。
人間発達学	1年	1	外里 富佐江	科目担当者は15年以上の地域、病院、施設で作業療法士としての臨床経験を有し、人間発達学の教育経験は、8年以上有している。具体的に人間発達学の事例紹介が可能であり、わかりやすく解説する。
栄養学	1年	1	岩間 正典 高泉 佳苗	高泉…管理栄養士として病院に勤務した実務経験を有する。授業では病院での栄養管理業務の経験を活かした授業を行う。
救急救命学	1年	1	堀口 雅司	・救急救命士としての25年以上の実務経験を活用して、医療人の基礎となる安全管理・救急医療の重要性を教授する。 ・医療人の基本となる人間愛と思いやりの心を持った救急対応時の知識と技術を指導する。
リハビリテーション概論	1年	2	佐直 信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にて内科学全般を研修、リハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科に18年間勤務し、リハビリテーション科専門医・脳卒中専門医等を取得、教科書作成にも関わった。その後、4年制大学及び短期大学でリハビリテーション概論及びリハビリテーション医学の講義を20年余にわたり担当した。
トランスレーショナルセミナーⅠ	1年	1	大和田 宏美 伊藤 大亮	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、豊かな臨床経験をもとに、理学療法教育が可能である
臨床実習Ⅰ（体験実習）	1年	1	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が理学療法についての理解を深め、臨床現場につなげることができるような実践的な授業を行います。
健康スポーツⅡ	2年	1	菅原 一昭	高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。宮城県マスターズ陸上競技連盟理事長。JAAF公認ジュニアコーチ資格。
運動学実習	2年	1	原 和彦 森永 雄	原…理学療法士として急性期、回復期医療施設にて5年以上の臨床経験を有している。主に運動器、中枢疾患、切断のリハの臨床理学療法を行う上で必要となる運動学を指導する。 森永…理学療法士として医療福祉関連施設（大学病院、一般病院、老人保健施設、通所施設）にて5年以上の臨床経験を有している。
臨床運動学	2年	2	網本 和 原 和彦	原・網本…医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての運動器疾患、中枢疾患の臨床実践と研究を継続してきた経験を生かし、治療的介入を行う上で必要となる臨床運動学について指導する。
内科学	2年	2	田林 咄一 西條 芳文	（田林）医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて代謝、呼吸器、循環器、消化器、及び免疫疾患の病態、治療について講義する。 （西條）医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて循環、呼吸、内分泌、血液、免疫の病態・診断・治療について講義する。
神経学	2年	2	平山 和美	脳神経内科の医師としての30年以上の臨床実務経験を生かして、医学的な内容を理解させる。
言語聴覚療法概論	2年	1	櫻庭 ゆかり	担当者は言語聴覚士として30年以上の臨床経験を有する。
チームアプローチ入門	2年	1	外里 富佐江 高橋 由美	看護師、作業療法士（病院等に5年以上勤務）として、チーム医療の実務経験を活かし、学生の理解を深められるような授業を展開する。

トランスレーショナルセミナーⅡ	2年	1	大和田 宏美	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、豊かな臨床経験をもとに、理学療法をおこなう上での実践的なコミュニケーションスキルを教授することが可能である。
理学療法評価学	2年	1	原 和彦	科目担当者は医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての運動疾患、中枢疾患の臨床実践と研究を継続してきた経験を生かし、治療的介入や予後予測、治療効果判定を行う上で必要となる基本的な理学療法評価の考え方を講義する。
基礎理学療法評価学実習	2年	1	坂上 尚穂	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かし理学療法評価の意義を理解し、基礎的な評価技術を修得することで、臨床実習に繋げることができるような授業を行います。
運動器障害理学療法評価学実習	2年	1	伊藤 大亮 大友 篤	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、かつ臨床および研究において運動器障害分野に専門的に従事してきており、より専門的、具体的な教育が可能である。
物理療法学演習	2年	1	伊橋 光二 小関 友記	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と、理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が物理療法学について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
日常生活活動学実習	2年	1	小関 友記	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が理解と実践ができるように授業を行います。
老年学	3年	1	佐直 信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にて内科学全般を研修、リハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科に18年間勤務し、リハビリテーション科専門医・脳卒中専門医等を取得した。その後、4年制大学及び短期大学で老年学の講義を20年余にわたり担当した。
公衆衛生学	3年	1	小林 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師として5年以上の公衆衛生看護実務経験を有しており、その経験を活かして学生が公衆衛生について理解が深まるよう授業を行います。
臨床検査・画像診断学	3年	1	小山 周樹 三木 未佳	(小山)放射線科専門医であり医学部においても東北大学医学部および東北医科薬科大学医学部に臨床実習を通算30年以上担当しており、本看護学部でも病態治療学Ⅰを10年以上担当している。 (三木)臨床検査技師として5年以上大学病院での実務経験に基づき、検査データの見方について授業を行います。
トランスレーショナルセミナーⅢ	3年	1	坂上 尚穂	担当教員は臨床経験が5年以上あり、症例検討の指導にも長年従事したため、学生に対しより実践的な助言・指導が授業が可能です。
神経障害理学療法評価学実習	3年	1	小関 友記	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、神経障害に対する理学療法を実践してきました。その経験を活かして学生が神経障害に関する評価の意義の理解と実践ができるように授業を行います。
内部障害理学療法評価学演習	3年	1	伊藤 大亮	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、かつ臨床および研究において内部障害分野に専門的に従事してきており、より専門的、具体的な教育が可能である
理学療法評価学総合実習	3年	1	大友 篤 小関 友記	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が理学療法評価について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。
運動器障害理学療法学	3年	2	原 和彦	担当教員は理学療法分野で20年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、運動器理学療法の臨床経験を活かして講義を行います。
運動器障害理学療法学演習	3年	2	原 和彦 坂上 尚穂	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かし上記病態を理解し、治療・指導を修得することで、実際の臨床現場に繋げることができるような授業を行います。
神経障害理学療法学	3年	2	網本 和 大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が脳卒中について理解を深め、症例に即した理学療法評価および理学療法の実践につながるよう授業を行います。
神経障害理学療法学演習	3年	2	網本 和 大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が脳卒中について理解を深め、症例に即した理学療法評価および理学療法の実践につながるよう演習を通して学ぶ授業を行います。
高次脳機能障害学	3年	1	網本 和	担当教員は大学病院等で20年以上の臨床経験を有する。
内部障害理学療法学	3年	2	伊橋 光二	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、かつ臨床および研究において内部障害分野に専門的に従事してきており、より専門的、具体的な教育が可能である。

内部障害理学療法学演習	3年	2	伊橋 光二	担当教員はいずれも、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、かつ臨床および研究において内部障害分野に専門的に従事してきており、より専門的、具体的な教育が可能である
神経筋疾患理学療法学	3年	2	網本 和 大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が神経筋疾患について理解を深め、症例に即した理学療法評価および理学療法の実践ができるように授業を行います。
小児理学療法学	3年	1	楠本 泰士	実務経験が5年以上、博士（理学療法学）
義肢装具学	3年	2	原 和彦	医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての実務経験を活かし、学生が義肢装具について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような授業を展開する。
義肢装具学演習	3年	1	原 和彦	医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての実務経験を活かし、学生が義肢装具について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような授業を展開する。
臨床実習Ⅱ（評価実習）	3年	4	原 和彦	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして学生が理学療法評価について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な指導を行います。
理学療法学総合演習Ⅰ	3年	1	大和田 宏美	担当教員は全員、医師あるいは理学療法士、作業療法士として10年以上の臨床経験を持ち、教育経験も同様である。そのため、基礎医学、臨床医学、作業療法の知識を理解、整理するための適切な教育をすることが可能である。
合計		63	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
		124	設置基準上の標準単位数	

【リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻】

科目名称	履修年次	単位数	教員氏名	実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性
法学入門	1年	1	鈴木 一樹	公認会計士として企業等の会計監査、税理士として税務業務、不動産鑑定士として鑑定評価業務に従事
経済と政策	1年	1	高橋 真	担当教員は、宮城県公立高校教員として11年「地理歴史科」「公民科」科目を担当し、また岩手大学と尚絅学院大学の教職課程担当者として20年「社会科教育法」を担当してきた。その経験に基づき、大学における経済学教育の実践的な教育指導法についての経験を有している。担当教員は学生の理解を高める授業を行います。 【免許・資格】中学校教諭一種・高等学校専修教員免許、大学設置審・教職課程設置担当科目合格教員
健康スポーツⅠ	1年	1	菅原 一昭	高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。宮城県マスターズ陸上競技連盟理事長。J A A F 公認ジュニアコーチ資格。
解剖学Ⅰ	1年	2	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、理学療法学・作業療法学を学んでいく上で必要な基礎医学の知識が身につくような授業を行います。
解剖学演習	1年	1	大和田 宏美	担当教員は、理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験や研究活動を活かして、学生が解剖学について理解を深め、理学療法学・作業療法学を学んでいく上で必要な基礎医学の知識が身につくようグループワーク中心の演習を行います。
運動学総論	1年	1	原 和彦	医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての実務経験を過ごし、学生が身体運動の仕組みについて理解を深め、臨床現場に繋げることができるような授業を展開する。
運動学演習Ⅰ	1年	1	原 和彦 坂上 尚穂	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が人体の構造と機能について理解を深め、日常生活や臨床現場に繋げることができるような授業を行います。
運動学演習Ⅱ	1年	1	原 和彦 大友 篤	担当教員は理学療法分野で5年以上の実務経験と理学療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が人体の構造と機能について理解を深め、日常生活や臨床現場に繋げることができるような授業を行います。
人間発達学	1年	1	外里 富佐江	科目担当者は15年以上の地域、病院、施設で作業療法士としての臨床経験を有し、人間発達学の教育経験は、8年以上有している。具体的に人間発達学の事例紹介が可能であり、わかりやすく解説する。
栄養学	1年	1	岩間 正典 高泉 佳苗	高泉…管理栄養士として病院に勤務した実務経験を有する。授業では病院での栄養管理業務の経験を活かした授業を行う。
救急救命学	1年	1	堀口 雅司	・救急救命士としての25年以上の実務経験を活用して、医療人の基礎となる安全管理・救急医療の重要性を教授する。 ・医療人の基本となる人間愛と思いやりの心を持った救急対応時の知識と技術を指導する。
リハビリテーション概論	1年	2	佐直 信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にて内科学全般を研修、リハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科に18年間勤務し、リハビリテーション科専門医・脳卒中専門医等を取得、教科書作成にも関わった。その後、4年制大学及び短期大学でリハビリテーション概論及びリハビリテーション医学の講義を20年余にわたり担当した。
作業療法学概論	1年	1	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で14年の実務経験がある。その経験を活かして、作業療法になるための基礎的知識を修得できるよう、実践的な授業を行う。
基礎作業学	1年	1	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で14年の実務経験がある。その経験を活かし、作業療法の中核概念である作業について、科学的知見を踏まえて授業を行う。
トランスレーショナルセミナーⅠ	1年	1	外里 富佐江	担当教員はいずれも、作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、豊かな臨床経験をともに、より実践的な教育が可能である
臨床実習Ⅰ（体験実習）	1年	2	外里 富佐江	担当教員は、作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、その経験を活かして学生が作業療法についての理解を深め、臨床現場につなげることができるような実践的な授業を行います。
地域生活支援論	1年	1	外里 富佐江 戸田 祐子	担当する教員全員が、10年以上の臨床経験を有し訪問リハビリテーション、施設での作業療法を経験している。地域で作業療法を実践していくため、必要な基礎知識について教授する実務能力がある。
健康スポーツⅡ	2年	1	菅原 一昭	高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。宮城県マスターズ陸上競技連盟理事長。J A A F 公認ジュニアコーチ資格。

運動学実習	2年	1	原 和彦 森永 雄	原…理学療法士として急性期、回復期医療施設にて5年以上の臨床経験を有している。主に運動器、中枢疾患、切断のリハの臨床理学療法を行う上で必要となる運動学を指導する。 森永…理学療法士として医療福祉関連施設（大学病院、一般病院、老人保健施設、通所施設）にて5年以上の臨床経験を有している。
臨床運動学	2年	2	網本 和彦 原 和彦	原・網本…医療福祉関連施設（大学病院、一般病院）での理学療法士としての運動疾患、中枢疾患の臨床実践と研究を継続してきた経験を生かし、治療的介入を行う上で必要となる臨床運動学について指導する。
内科学	2年	2	田林 暁一	（田林）医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて代謝、呼吸器、循環器、消化器、及び免疫疾患の病態、治療について講義する。 （西條）医師として5年以上の臨床経験があり、それに基づいて循環、呼吸、内分泌、血液、免疫の病態・診断・治療について講義する。
神経学	2年	2	平山 和美	脳神経内科の医師としての30年以上の臨床実務経験を生かして、医学的な内容を理解させる。
言語聴覚療法概論	2年	1	櫻庭 ゆかり	担当者は言語聴覚士として30年以上の臨床経験を有する。
チームアプローチ入門	2年	1	外里富佐江 高橋 由美	看護師、作業療法士（病院等に5年以上勤務）として、チーム医療の実務経験を活かし、学生の理解を深められるような授業を展開する。
トランスレーショナルセミナーⅡ	2年	1	酒井 弘美	担当教員はいずれも、作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、豊かな臨床経験をもとに、より実践的な教育が可能である
作業療法評価学	2年	1	酒井 弘美	担当者は作業療法士の資格を有し、大学病院、総合リハビリテーションセンター等で20年以上の臨床経験がある。また、40年間、地域での作業療法にも関わってきたため、実際の現場で求められる作業療法評価について教育することが可能である。
身体障害作業療法評価学演習Ⅰ	2年	1	酒井 弘美 戸田 祐子	担当教員は全員作業療法士資格を有し、作業療法分野で5年以上の実務経験がある。その経験を活かし、評価手技についての授業を行う。
身体障害作業療法評価学演習Ⅱ	2年	1	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で14年の実務経験がある。その経験を活かし、作業療法実践に不可欠な評価手技についての授業を行う。
精神障害作業療法評価学演習	2年	1	平山 和美 須藤 あゆみ	担当教員は作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、精神障害に対する作業療法を実践してきた。その経験を活かして学生が精神障害の作業療法について理解を深める実践的な授業を行う。
高次脳機能障害作業療法評価学演習	2年	1	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士の資格を有し、作業療法分野で14年の実務経験がある。その経験を活かし、高次脳機能障害の作業療法に必要な評価の知識・手技について授業を行う。
生活環境論	2年	1	外里 富佐江	作業療法士の資格をもち、地域リハビリテーションの経験を有し、わかりやすく生活環境について伝えることができる。
老年学	3年	1	佐直 信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にて内科学全般を研修、リハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科に18年間勤務し、リハビリテーション科専門医・脳卒中専門医等を取得した。その後、4年制大学及び短期大学で老年学の講義を20年余にわたり担当した。
公衆衛生学	3年	1	小林 淳子	担当教員は保健師の資格と行政保健師として5年以上の公衆衛生看護実務経験を有しており、その経験を活かして学生が公衆衛生について理解が深まるよう授業を行います。
臨床検査・画像診断学	3年	1	小山 周樹	（小山）放射線科専門医であり医学部においても東北大学医学部および東北医科薬科大学医学部に臨床実習を通算30年以上担当しており、本学看護学部でも病態治療学Ⅰを10年以上担当している。 （三木）臨床検査技師として5年以上大学病院での実務経験に基づき、検査データの見方について授業を行います。
基礎作業学演習Ⅰ	3年	1	齋藤 佑樹 須藤 あゆみ	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で5年以上の実務経験がある。その経験を活かし、作業を評価・治療に用いる意義や具体的手法について授業を行う。
トランスレーショナルセミナーⅢ	3年	1	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で5年以上の実務経験がある。その経験を活かし、臨床力を養うための実践的な授業を行う。
作業療法研究法Ⅰ	3年	1	外里 富佐江	担当教員は、20年以上の教育経験があり、地域リハビリテーション領域、高次脳機能障害、神経神経学領域、専門職連携教育における研究実績があり、わかりやすく指導できる。
作業療法理論	3年	2	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、作業療法分野で14年の実務経験がある。また、作業療法理論に関連した学術論文や書籍を多数執筆している。これらの経験を活かし授業を行う。

身体障害作業療法学Ⅰ	3年	2	酒井 弘美	単位認定者は作業療法士の資格を有し、大学病院、総合病院、リハビリテーションセンター等での20年以上の臨床経験があり、長年地域での作業療法にも関わってきた。その経験を活かし、現場で求められている作業療法について、より具体的に教育する。
身体障害作業療法学Ⅱ	3年	2	酒井 弘美	単位認定者は作業療法士の資格を有し、大学病院、総合病院、リハビリテーションセンター等での20年以上の臨床実務経験がある。その経験を活かし、より具体的に現場で求められる作業療法について教育する。
身体障害作業療法学演習	3年	2	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、身体障害作業療法分野で14年の実務経験がある。この経験を活かし、臨床実践力を養う授業を行う。
精神障害作業療法学	3年	2	須藤 あゆみ	担当教員は作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、精神障害に対する作業療法を実践してきた。その経験を活かして学生が精神障害の作業療法について理解を深める実践的な授業を行う。
精神障害作業療法学演習	3年	1	須藤 あゆみ 熊谷 竜太	担当教員は作業療法分野で5年以上の実務経験と作業療法士資格を有しており、精神障害に対する作業療法を実践してきた。その経験を活かして学生が精神障害の作業療法について理解を深める実践的な授業を行う。
高齢期作業療法学	3年	1	外里 富佐江	教員は、10年以上の臨床経験があり、20年以上の「高齢期作業療法」の教育経験を持つ。この授業を担当する高齢期の作業療法について十分な経験がある。
高齢期作業療法学演習	3年	1	外里 富佐江	全教員は、作業療法士として10年以上の臨床経験があり、「高齢期作業療法演習」の教育経験を持つためわかりやすく指導が可能である。
発達障害作業療法学	3年	1	橋浦 樹里	担当教員は作業療法士資格を有しており、小児領域において5年以上の実務経験があります。その経験を生かして、学生が発達や小児疾患への理解を深め、臨床現場で作業療法士としての役割を実践できるよう、具体的に授業を行います。
高次脳機能障害作業療法学	3年	1	酒井 弘美	科目担当者は作業療法士の資格を有し、大学病院、総合病院、リハセンターで20年以上の実務経験がある。また、東京都大田区で高次脳機能障害者の機能訓練事業、就労支援事業に13年間携わってきた。その経験を活かし、高次脳機能障害者の急性期、回復期、生活期の全てに対応する作業療法士の教育を行う。
日常生活活動学	3年	2	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有し、身体障害作業療法分野で14年の実務経験がある。この経験を活かし、臨床実践力を養う授業を行う。
義肢装具学	3年	2	齋藤 佑樹	担当教員は作業療法士資格を有する。身体障害作業療法分野で14年の実務経験があり、義肢装具を用いた作業療法介入を多く経験してきた。この経験を活かし、臨床実践力を養う授業を行う。
地域作業療法学	3年	1	外里 富佐江	担当教員は、10年以上、地域、施設、病院の臨床に携わり豊富な知識と臨床経験があり、20年以上の教育経験があるため、わかりやすく地域リハビリテーションを教授が可能である。
職業リハビリテーション論Ⅰ	3年	1	酒井 弘美	担当教員は作業療法士として、20年以上の医療機関での実務経験を持つほか、東京都大田区で高次脳機能障害者の就労支援事業に13年間携わり、自立支援協議会の就労部員としての経験も有している。その経験を活かし、職業リハビリテーションについて多職種との連携も含めて教育する。
作業療法学総合演習Ⅰ	3年	1	平山 和美 酒井 弘美	担当教員は全員、医師あるいは理学療法士、作業療法士として10年以上の臨床経験を持ち、教育経験も同様である。そのため、基礎医学、臨床医学、作業療法の知識を理解、整理するための適切な教育をすることが可能である。
	合計	65	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
		124	設置基準上の標準単位数	